

学部 / 実践看護学領域 / 看護の発展  
科目コード:130048

## 国際看護演習 I Practicum: Global Health Nursing I

担当教員	国際交流委員長 研修担当教員											
実務経験	複数の教員が担当しており、教員としてのキャリアや異文化交流経験を活かした実践的教育を行っている。											
開講年次	1年前期4年前期			単位数	1			授業形態	講義・演習			
必修・選択	選択			時間数	30							
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	◎
Keywords	国際看護、アメリカ合衆国の保健医療福祉、異文化交流、ホームステイ、シミュレーション教育											
学習目的・目標	<p>【目的】 アメリカ合衆国(以下、アメリカ)で看護研修を行うことにより、文化的能力(多様な文化への理解と適切な関わり)とアサーティブなコミュニケーション(自分も相手も尊重しつつ、率直で対等なコミュニケーション)能力を高め、その文化や人々の暮らし、健康課題、保健・医療・福祉制度を理解する。また、異文化経験を通して自文化の世界観に気づき、自己や自国・地域への関心が高まり、日本の健康を巡る事象の解決に向けて現状を突破しようとする力を育てる。</p> <p>【目標】 1. アメリカの学生・地域住民との交流、ホストファミリーと生活を共にすることによって、アメリカの文化や人々の暮らしを理解する。 2. アメリカの健康課題と保健・医療・福祉および看護教育システムを理解する。 3. アメリカの看護教育や看護実践およびその背景にある価値観に触れる。 4. 英語学習により語学力をスキルアップする。 5. アサーティブなコミュニケーションができる。 6. 日本の健康を巡る事象を考え調べようとする動機や、現状を突破しようとする思考を醸成する。 7. 地域の健康の維持増進や健康課題の解決には多様な価値観や立場の人たちと対話しながら糸口となるアイデアや新しい価値を共に創り上げていく「共創力」が重要だと理解する。 8. グローバルな視点から新しい看護の可能性を考えることができる。</p>											
授業計画・内容												
回	内容											
1-4	事前学習(講義・グループ演習等) 1)アメリカの概要 2)アメリカにおける保健医療福祉システムや医療保健制度 3)アメリカの看護制度や看護教育システム 4)見学予定施設の概要 5)英語学習 6)臨地演習への臨み方・安全確保など											
5-14	臨地演習 研修先:アメリカユタ州プロボ市など 期間:9月初旬~9月中旬(約2週間) 内容: 1) 現地大学生とともに、看護学その他の講義に参加 2) 教育施設や保健・医療・福祉施設の見学 3) 現地大学生との交流 4) ホームステイによる地域生活体験と住民との交流 5) 歴史文化的体験											
15	振り返りと報告会											
教科書	随時掲示する											
参考図書等	随時提示する											
評価指標	事前学習 30%、研修での取り組み(プレゼンテーション、カンファレンスでの発言)50%、レポート 20%											
関連科目	国際看護論、英語Ⅲ、英会話											
教員から学生へのメッセージ	百聞は一見に如かず! 海外における看護研修での多くの学びと人びととの出会いは、きっとあなたの看護に対する考えに大きな影響を与えることになるでしょう。現地での研修内容は状況により変更することがあります。  受講にあたっての注意 *希望者が多い場合、学内選考で受講者が選抜される。 *実施プログラムおよび参加募集等については事前に説明会が開催される。 *学生セミナーや大学祭などで研修報告会を行うことがある。											